

## 令和4年度「健康都市に関する懇談会」 会議要旨

### 1 開催日時

令和4年12月12日（月）

開会 午後2時

閉会 午後4時

### 2 開催場所

尾張旭市役所 3階 302・303会議室

### 3 出席した構成員（12名）

柳澤理子、森田絹代、浅見 誠、福嶋喜美子、星野幸子、野々山聖子、  
秋田喜代己、森下眞美、渡邊安正、若杉浩二、松尾亮太、徳増とし子

### 4 欠席した構成員

0名

### 5 傍聴者数

0名

### 6 出席した事務局職員

健康都市推進室長 谷口洋祐、係長 柳田麻維、主事 石川礼奈

### 7 議題等

- (1) 健康都市の推進状況・令和4年度の取組・今後の予定（報告）
- (2) 意見交換（これまで・これからの健康都市の取組について）

### 8 会議の要旨

1 開会
・健康都市推進室職員の紹介 ・資料の確認 ・会議進行方法の説明 ・構成員の紹介 ・座長（他薦により柳澤理子）、職務代理者（座長指名により若杉浩二）の選出
2 議事
(1) 健康都市の推進状況・令和4年度の取組・今後の予定（報告）
・事務局から、資料に基づいて説明。

(2) 意見交換（これまで・これからの健康都市の取組について）

・座長の進行のもと、各構成員から次のとおり意見が出された。

●尾張旭市に引っ越してきて、広報おわりあさひなどで「健康都市」というワードを目にするようになったが、「健康」は人によって捉え方が違うとっていて、市として「健康とは〇〇だ」というような発信はしているか。

（事務局）「健康」の意味合いは広く普及されていると考え、あえて健康そのものの定義の発信はしていないが、「健康都市とは何か」ということで、「まちを健康にしていくことで、人のからだやこころも健康になる」ということを積極的に発信している。

●WHOの提唱する「健康都市」には、日頃の生活に不安がなく、前向きな気持ちで生活できるという意味もあったと思う。個々の家庭に関しては、行政や他人が手を差し伸べることはなかなか難しいが、例えば「外に出かけたくなるまちづくり」として市営バスを運行するなど、様々な形で、「健康都市」の環境を整えているのではないかと感じている。

●WHOの定義で「ウェルビーイング」という言葉がある。訳しにくいですが、「良い状態（安寧）」ということ。聞いた話だが、がんの末期の人たちに「あなたは健康ですか。元気ですか。」という質問をしたところ「元気です。」と答える人もいたとのこと。おそらく、痛み等が日々ある中で、「今日は調子が良い」ということかもしれないが、障がいや病気がある等、いわゆる100%元気一杯でなくても、人それぞれの健康があるのではと思った。多様な健康を認め合い支え合うことは、「まち」として大事な要素ではないかと思う。

●シニアクラブはコロナの影響を大きく受けている。「健康」という切り口で見ると、健康麻雀のために外出して活動する機会ができ、女性の参加者も増えてきているが、筋トレをするサークル等の活動回数や参加者が減少傾向にある。また、シニアクラブ数、会員数も減少している。市民の健康状況について、現場で起きていることを健康都市の視点を持って各担当課と連携していくことが重要と考える。

●地域活動連絡協議会もコロナの影響を大きく受けている。9校区にそれぞれみらい子育てネットがあったが、1つが退会、2つが休会していて、現在は6つのネットが、児童館を拠点にしてボランティア活動をしている。イベントを企画しても参加者が減少。会員も減少・高齢化している。コロナ前にあった活動ができなくなり外出が減ったため、個人的には、コロナの影響で筋力が落ちたような気がする。整形外科に行った際も非常に混んでおり、コロナ禍で患者数が増えたように感じた。そのため、毎日様々なところでラジオ体操が行われると良いと思う。

●あさひ健康マイスターの発行部数と回収手帳数はどのくらいか。

（事務局）令和4年度は10,000部発行している。市内全小学生に配布をしており、中学生には希望者へ配布している。また、その他の年代には公共施設やイベント等で配布している。手帳提出者は、ここ数年は500名ほどで推移している。回収率を上げるため、提出までつなげられるよう効果的な配布方

法等を考える必要がある。

●健康づくり推進員は、筋トレ・ウォーキング・笑いと健康（健康講座）の3本柱で活動している。ウォーキングを毎月1回実施するほか、らくらく筋トレ教室は、68教室、約1,600名が参加している。令和5年2月に健康講座を開催する予定。

自分のやっていることが地域のかたの役に立っていてとても嬉しい。今後も頑張りたい。

●スポーツ推進委員は、スポーツを通して皆に健康になってもらうことを目的に活動している。定期的に月1回各小学校でニュースポーツ体験会を実施している。軽々楽々スポーツとしてスポーツ推進委員の派遣をしており、筋トレサークルやシニアクラブ、子ども会から依頼を受けることもある。最近では、就労支援施設から、就業前にラジオ体操をすることで気持ちを前向きにし、就労活動へ結び付けることを目的として、ラジオ体操の指導の依頼がある。また、少人数を対象としたシニアサロンなど、依頼される場所も多様化し、増えてきている。

●商工会では、女性部で今年1月から月1回程度で「転ばぬ先の体操」をテーマに、筋トレやダンスを15名ほどで実施している。その他にグループでコーラスもしており、市民音楽祭にも参加した。皆、大変楽しんでおり、認知症予防になっているため、今後もこういった活動を徐々に広げていきたい。個人的には、筋力をつけるため、自宅でテレビ体操をしている。

●子どもがラジオ体操をする機会が減った。子ども会の解散や、コロナで集まることができない時期が続いたことが大きいように思う。

●あいち尾東農業協同組合で実施している、健康の向上に関するイベントは、とても人気がある。最近、農業が健康維持につながるものがクローズアップされ、無農薬栽培の野菜なども増えてきた。ただ、農家（生産者）は減少・高齢化傾向にある。

●市民農園の近くに住んでいるが、天候に関係なく毎日高齢の方が一生懸命作物を育てているのを目にする。農業は、自分たちでできる健康法として面白いと思う。資料をみると、「生きがいを持っている高齢者の割合」が減少しているが、様々な視点で「生きがい」をつくるのが大切である。高齢者だけでなく、若者にも「生きがい」となるようなものを提供し、マッチングすると良いと思う。

●ひきこもりになりそうな人が外に出かけたくなるように、一人でも多くの高齢者に周りをつながりを持たせられるよう、自主的に近所でグループを作って活動している。仲が良い夫婦の片方が亡くなり、残された方がパニックになり病気になってしまった人がいる。周りを見るとそういう状況になるおそれのある人が多いように感じる。そうなる前に、色々な人と話す機会があると良い。夫婦仲も大事であるが、友達を作ることも大事であることを知ってほしい。周りとは会話する機会などを作る活動をしているが、コロナ禍での活動はなかなか難しい。

●子育てをしている世代と高齢者がふれ合える場はあるか。子どもは高齢者の方々の癒しになり、子育てをしている母親も、子どもを高齢者の方々に見てもらえたらほっと一息できて、互いにハッピーな関係になるのではないかな。

(事務局) 市としても、子どもと高齢者が交わる場があると良いと考えている。児童館と公民館を近くに併設するほか、多世代の交流を目的とした多世代交流館いきいきなど、公共施設の設置場所等も工夫している。どのように施設を利用していただくかは一つの鍵になると思う。

●現在、小中学校の部活動は課外活動として実施されているが、来年度以降、社会体育・地域体育へ移行する流れがある。健康都市プログラムの中で、社会体育・地域体育として、小中学生の運動がどうなっていくのか気になる。

●「健康都市」として、地域の人々の活躍は欠かせないと思う。後継者不足に悩んでいる団体が多い中、楽しみながら活動している若い人も多い気がする。そういう若い人たちは、SNSでつながっており、そういう人達に活躍してもらえたら良いと思う。ボランティア連絡協議会等にはなかなか入ってもらうことが難しいが、何か一緒になって取組ができると良い。

●中学生に、「尾張旭市の目指している健康都市」について周知できる機会があっても良いと思う。その中学生が大人になって、「尾張旭市は健康都市だ」と広めてもらえると良い。

●まちづくりアンケートの詳細を教えてください。

(事務局) 2年に1回、無作為抽出した、18歳以上の市民3,000人を対象にアンケートを実施している。市のホームページで集計結果を公表している。

●高齢者の集まる所と若い世代の集まる所では、それぞれ得られる情報等も違うと思うが、そこで高齢者と若い世代がつながり始めると互いにとって良いのではないかな。新しい風を吹き込むと思う。

(事務局) 2年ぶりに懇談会を開催し、コロナ禍での構成員の活動状況について直接伺うことができ、とても貴重な機会となった。コロナ禍により従前当たり前にできたことが途絶えてしまうことを非常に心配している。「外に出かけたくなるまちづくり」を進める中では、今後、どれだけデジタル技術が進化しても、人と人が対面で活動できるような働き掛けをしないといけないと強く感じた。また、小中学生への働き掛けがとても大切だと感じた。皆が大きな負担を感じずに楽しめる健康づくりをキーワードに、次期の健康都市プログラムへの改訂を進めていけたらと考えている。

### 3 その他

(事務局) 本日はいろいろな御意見をいただき、ありがとうございました。

会議の中で伺った意見は、事務局で整理し、今後の健康都市づくりに反映していきたいと思えます。また、本日の会議録につきましては、調整の上、後日送付させていただきます。皆様の御了解を得たのち、市ホームページに公開いたしますので、よろしくお願いたします。